



農協だより

Vol.94

URL: <http://www.ja-aki.jp> 平成 26 年 6 月

稲作講習会

場 所 : JA安芸各支店
 時 間 : 午前の部 10 時～・午後の部 1 時 30 分～
 講習内容 : 田植後の管理と本田防除について～

日時	6月9日(月)		6月10日(火)		6月11日(水)		6月12日(木)		6月13日(金)	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
会場	畑賀 2階	中須賀 2階	東海田 2階	阿戸 2階	上瀬野 3階	中野 2階	瀬野 2階	熊野 2階	追分	初神 老人集会所

新入職員研修

5月16日に平成26年度JA安芸新入職員の農業体験研修を育苗センターで行いました。今回の水稲苗緑化作業では、ビニールハウスの中でローラーから運ばれてくる発芽苗箱3,850枚を一枚一枚並べていく作業を行いました(箱出し)。この日は気温も高く締め切ったハウスの中では温度が37℃にもなり、汗だくになりながら農業の大変さを学んでいました。

今回研修に参加した新入職員からは、「消費者のもとにお米として供給されるまでには農家が苦勞して生産されていると、実際に体験して初めて驚きました。」(熊野支店・中村友哉)、「今回の体験で農家の方の大変さを知った。改めて食の大変さを感じました。」(坂支店・宮崎貴壮)、「毎日食べているお米が農家の苦勞や努力で作られていることを実感しました。」(萩原支店・中尾祥大)などの感想がありました。これから先も新入職員の農業体験を行っていききたいと思います。



トマトソバージュ栽培勉強会



阿戸農事研究会で昨年から会員全員に配布し、調理用トマトの作付けを行っています。昨年は通常の管理を行いました。今年は通常の栽培と異なり、わき芽を取らずそのまま栽培する「ソバージュ栽培」について、5月1日に種苗メーカーの担当者を招き現地講習・指導を行いました。通常の栽培と違い木が生長するとわき芽が繁り誘引がしにくいのでキュウリネットを使用し誘引の手間の省き方や、また原則芽かきはしないが病気の対策として1番果までの芽は除く事。わき芽が伸びると重みで枝が垂れ下がるため簡略な誘引方法や、施肥、灌水について説明を受けました。

収穫は良くできると1株で13kgの収量があるため効率的な収穫方法や、裂果があった場合の加工方法・調理用トマトを使った簡単にできる料理なども勉強し参加者の皆様には大変好評で非常に参考になりました。

7月から活菜倶楽部などでも販売されると思いますので、ぜひ一度購入してみてください。



坂町菊作り講習会

坂町より「菊づくり」体験学習の講師依頼があり、5月15日営農指導員を派遣しました。午前は開講式があり、その後、菊づくりについての講習会を行い、午後からは現地講習として畝立・定植を行いました。参加者9名のうち多数の方が毎年この体験学習を受講されていて、作業の手際の良さと知識には非常に驚いています。

食農教育で小学校へ訪問しました！

食農教育の一環で5月14日坂町立横浜小学校4年生43名、5月20日海田町立海田南小学校の5年生の107名、5月27日には海田町立海田小学校5年生63名を対象に『総合学習』の授業の中で「バケツ稲づくり」に取組み、種まきを行いました。JAから「バケツ稲づくり」セットの「コシヒカリ」の種もみ、肥料、栽培マニュアルを配布し、用土を詰め種もみを播きました。水稲の生長について説明して、稲にはいろいろな決まり事があり観察する楽しさと、お米は農家の方が一生懸命作っていることを話しました。児童達は、ペットボトルの中へ種もみを入れ浸種して芽の出方を観察しており、皆、土や種籾に触れて楽しく学んでくれました。これから、苗の生長をじっくり観察してお米の大切さ、いのちの大切さを勉強してもらいたいと思いました。

